

調達管理番号・案件名

24a00488_全世界(広域)クラスター事業戦略「水道事業体成長支援」に基づく経営改善指導を通じた情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式一ランブサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2024年8月2日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	11	第2章特記仕様書 第2条調査の目的と範囲	入札説明書には「現地調査対象国にて同アプローチの有効性を可能な範囲で検証する。」と記載されている。「アプローチの検証」とはどのようなことを想定しているのか。	第4条 調査の内容(5)2)に記載のとおり、現地調査においてデスクトップサーベイ時に作成した処方箋を説明した上で、同4)に記載のとおり、短期的に組織内で完結できる改善点を議論し、実行することを想定しています。このように財務諸表やKPIを分析し、作成した診断書・処方箋によるアプローチの妥当性を検証することを想定しています。
2	12	第2章特記仕様書 第3条調査実施の留意事項 (2)調査対象	カテゴリーBとカテゴリーCの国及び事業体は固定との理解でよいか、あるいはデスクトップサーベイの結果を受けて変更することはあるのか。	カテゴリー(B)については、完全に固定するものではなく、現時点での想定です。こちらは調査開始後の協議によって変更の可能性があります。カテゴリー(C)についても完全に固定するものではなく、現時点での想定です。現地調査のタイミングによっては受け入れが難しい場合も想定されるため、デスクトップサーベイの結果や調査時期を踏まえて、第4条(4)に記載のとおり、本事業の過程で決定したいと考えております。
3	12	第2章特記仕様書 第3条調査実施の留意事項 (2)調査対象	カテゴリーCには5か国(6事業体)であるが、分類された基準をご教示願いたい。	色々な観点を含めて選定しておりますが、共通項としては将来的な案件形成が想定しうる国を選定しています。
4	13	(4)現地調査 1)調査対象	「以下の5か国の7事業体」とありますが、同ページの上の表中の事業体数は6事業体です。いずれかの国であと1事業体も対象となるのか、6事業体が正しいのかどちらでしょうか。	6事業体が正しい数です。
5	13	第2章特記仕様書 第3条調査実施の留意事項 (4)現地調査	「5か国の7事業体を対象として想定する」とあるが、7事業体ではなく、6事業体ではないか。	ご指摘のとおり、6事業体が正しい数です。
6	20	最終報告書 目次案	「2.1 現地調査対象外国」の項目に「指標他に基づく簡易分析結果」とあるが、この項目の対象はカテゴリー(B)のみの想定で間違いないか。つまり、カテゴリー(A)については「更新した指標及び、情報ソース」のみを記載する。	ご認識のとおりです。
7	22	第3章技術提案書作成要領 1. 技術提案書作成に係る要件 (2)業務量の目途	現地渡航回数が述べ4回となっているが、1人で4回との理解でよいか。別提案も可能か。	1人で4回という指定はしておりません。柔軟なご提案を期待しています。
8	24	「2. 技術提案書作成上の留意点」における「*評価対象とする類似業務：上水道事業の事業体経営、財務改善に関する各種業務」の記載について	「*評価対象とする類似業務：上水道事業の事業体経営、財務改善に関する各種業務」の記載について、「財務改善に関する各種業務」は、上水道事業の事業体に関する業務をご想定でしょうか。下水、電力等の類似する公共サービスに関する類似経験は評価対象になるか否かをご教示いただければ幸いです。	財務改善に関する各種業務も上水道事業体に対する業務を想定しております。

9	26	(3)定額計上について	項番3「車両借上費」につき、第1回および第2回渡航は20日間概算で計上されていますが、各渡航時 アジア地域、アフリカ地域合わせて20日間概算(合計40日間概算)でしょうか。あるいは、地域別で第1回および第2回渡航それぞれ20日間ずつ(合計80日間概算)でしょうか。	移動日を除いた72日間で積算しております。
10	26	(3)定額計上について	項番2「通訳備上費」、項番3、4「国内移動(アジア地域想定)および(アフリカ地域想定)」については第1回および第2回渡航分合算での費用計上でしょうか。	ご認識のとおりです。
11	26	第3章技術提案書作成要領 3. 経費積算に係る留意事項 (3)定額計上について	国内移動では「各2サイトへの移動を想定」となっている。各国において想定されている2サイトの場所をご教示願いたい。	具体的な場所を想定しての積算ではなく、国内移動に飛行機移動が必要な場所も想定しうることから計上しているものです。

以上